

港区立御成門中学校

令和 5 年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の「読み」はできるが、「書き」に対し、力が不足している。また、口語文法に関し、基本は抑えているものの、応用することに課題が見られる。古典に対しても同様。</li> <li>「話す、聞く」は能力が高いが「書く」ことに課題がある。特に自身の意見や考えを書いたり、文章をまとめたり、要約する力が当てはまる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の復習テストや語句の意味を問う問題を授業の中に定期的を含める。古典作品は、資料を活用しながら内容を理解させた上でくり返し音読させるなど復習し暗唱させることを大切に指導する。</li> <li>既習漢字を使った文章を授業の中で書かせたり、要約の演習を行い、推敲する習慣をつける。図書館とも連携した読書活動を中心に、漢字や言葉に関心をもたせ想像力を育ませる主体的、対話的な言語活動を授業で展開させる。</li> </ul>

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力 (学びを深めるために必要な基礎的な力)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本は定着している生徒が多く、定期考査においては平均点が高めではあるが、分野による差や個人差がみられることが課題である。</li> <li>ワークシートによる記述と比べてICTの入力の方が意欲的に取り組む傾向がある。記述論述による表現がしっかりとできるようにすることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本の確実な理解のための復習確認テストや、地図や統計、史料等を読み取る技能の確実な定着を図るための演習を行う。</li> <li>社会的事象を考察し、自ら判断し、その過程や結果を言葉や文章や作品等を通して表現できるような学習活動を行うことで能力の伸長を図る。</li> </ul>

数学	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>例題レベルの力は定着しているが、応用問題に慣れる必要がある。</li> <li>基本的な計算能力はあるが、分数の計算や割合について理解が不十分な点が見られる。</li> <li>得点の中間層が少なく、学力の2極化している。下位層の基礎の定着が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算方法や用語など、既習事項の確認を意識的に行う。</li> <li>既習内容の計算技能を高める。 (授業導入時の計算ドリル、定期テストへの出題など)</li> <li>練習問題では応用問題にも取り組み、図や表など活用して、丁寧に説明を行う。</li> </ul>

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能</li> <li>・思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<p>基礎的な学力の定着に課題があり、基本の内容が身につけている生徒とそうでない生徒の差があり、2極化している状況もある。</p> <p>特に計算問題ができない生徒が多数みられる。</p> <p>実験時、基本的な実験器具の操作や結果をもとにして考察を行う点について課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し計算問題に取り組みせ、基礎的な計算能力と計算の考え方を身に付けさせる。</li> <li>・正しい実験器具の使い方について、説明するだけでなく、操作の仕方について動画を視聴しながら実際の操作や説明を行う。</li> <li>・考察の際に着目するポイントをはっきりさせながら指導を行い、自らの考えを積極的に表現させる。</li> </ul>

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能</li> <li>・思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<p>よりよい音楽表現や価値を追求するため、これまで学習した内容(知識・技能、考えたことなど)を今の学習に生かすことに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の導入時に、題材同士の関連を明確にしてわかりやすく示し、既習内容を本題材の学習に積極的に生かすよう助言する。</li> <li>・本題材に関連する既習事項の復習時間を作る。板書やワークシートに可視化して示す。</li> <li>・これまでの学習を生かして取り組んでいる生徒の発言や活動例などを取り上げ模範として示す。</li> </ul>

美術	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<p>・作品制作において、アイデア考察時の発想力の広がりや、制作を進めていく段階でそれらが薄れていってしまうことが課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材ごとのワークシートに自分の想いや改善点を毎時間考えて記入して振り返ることで、制作したことを考え、表現方法や技法を考察する。個々の想いが、十分に込められた作品制作を行う。</li> <li>・自分の想いを持つことで作者の想いや意図を感じ、豊かな感性を持てるよう相互鑑賞の機会を作る。</li> </ul>

保健体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識及び技能</li> <li>・思考力、判断力、表現力</li> </ul>	<p>令和5年度の新体力テストの結果から「ハンドボール投げ(巧緻性)」「長座体前屈(柔軟性)」が課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元により関連して高まる体力を知ることや体力の課題を共有することで、技能向上や体力向上を目指す。</li> <li>・ペア活動、グループ活動、タブレット学習を通じて自分の考えをまとめたり、伝えたりする機会を作る。</li> </ul>

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能</li> <li>思考力、判断力、表現力</li> <li>生活に活用する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な知識の習得と、活用について生徒ごとの差がみられる。</li> <li>課題設定や解決のための取組み方や思考力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活と技術についての基礎的な知識の習得を促し日常生活内で課題を設定し、解決策を構想する。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた考察や、工夫・創造ができるよう発表の機会を増やす。</li> </ul>

外国語（英語・国際）	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識や語彙の定着</li> <li>知識や語彙を活用する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度全国学力・学習状況調査の結果からまとまった英文を「書くこと」に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペリングテストを実施し、語彙力を身に着けさせる。</li> <li>単元評価プリントなどで復習を繰り返し、定着した知識を活用できるようにする。</li> <li>少人数習熟度別授業や ICT 機器の特性を生かし、個に応じた指導の充実を図る。</li> </ul>

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>時節にあった題材を用い、生徒の気持ちに寄り添った共感的な授業になるよう課題設定を行う。</li> <li>仲間の意見を受容し、互いを認め合える機会となるよう、意見共有の場を増やす方法を工夫する。学年教員が全クラスの道徳授業を担当することで多種多様な考え方や価値観を共有する機会を増やす。</li> </ul>

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	多様な他所と協働する行動の仕方を身に付け、人間関係の課題を見だし合意形成を図り、自己実現を図ろうとする態度を養う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒相互の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方や資料等を手掛かりに考えたり話し合ったりすることを通して、自己の考え方を協働的に広げ深め、対話的な学びの実現を図る。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら積極的に社会に参画する態度を養う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な活動を中心に、協働学習の推進を行う。</li> <li>調べ学習やその他活動においても、各種 ICT 機器を活用しながら、他者の意見を参考にし、自らの考えを深められるよう指導の工夫を行う。</li> <li>活動がどのように社会に影響するか等、実際の社会につながる指導を織り交ぜ、興味喚起の強化を行う。</li> </ul>